

子どもたちが助けを求められる「子ども110番の工事現場」

一般社団法人 多治見建設業協会

所在地	多治見市下沢町
代表者	理事長 松島祥久
会員数	28社
業種	同業団体（建設業）
活動開始	平成18年7月
活動エリア	多治見市、瑞浪市、土岐市

主な活動内容

- 子どもけんせつ110番
協会の本社事務所を「子どもけんせつ110番」とし本社事務所の敷地出入口にのぼりを立てて、万が一の駆け込みに対応しています。
- 子ども110番の工事現場
工期が1カ月以上ある通学路や公園・広場付近の建設工事現場を「子ども110番の工事現場」とし、工事敷地出入口にはのぼりを掲示するとともに、現場事務所の出入口にもステッカー表示をして、万が一の駆け込みに対応しています。
- 各会員への活動内容の周知徹底



活動をはじめた経緯

当協会では、地元建設業団体として地域貢献活動に力を入れております。その一つには平成16年3月に岐阜県と防災協定を締結した災害時における社会基盤の復旧活動です。「自分たちのまちは自分たちで守る」の精神で活動を行ってきました。また、毎年2回の各地域での道路清掃活動（ロードプレイヤー活動）です。

そうしたなか、全国的に子どもたちが犯罪被害に遭う事件が報道され、地域でも不審者（不審車両）が出現しており防犯問題になりました。このため、当協会としても地域防犯活動に積

極的に参加し、子どもたちが危険な目にあった時には、通学路や公園などのそばにある建設工事現場が緊急的な助けを求められる場所となるようにと考え、多治見土木事務所と多治見警察署に相談し、平成18年7月に「子ども110番の工事現場」を発足しました。

工夫したこと・特色

活動の開始にあたり、「110番」を使用するための警察署との打ち合わせや、工事を発注する官公署や各市の教育委員会などの理解



を得ることに日時を費やしました。次に、活動内容を各会員へ周知徹底し、各会員に行う新規入場者講習や安全協議会において、一人ひとりの作業員や警備会社のガードマン等に対して十分な趣旨説明を行い、万が一の時の対応について理解を得ました。

活動の成果

現在まで対応事案は起きていませんが、平時における子どもへの「声かけ」や「見守り」等の防犯活動に役立っていると考えています。また、会社の事務所や工事現場等の事務員や作業員等の防犯意識の向上にもつながっています。

今後について

今後とも、建設現場の近辺の路上に潜む犯罪や危険から子どもたちを素早く保護するとともに、「地域で子どもたちを守る」「地域で子どもたちを育む」「安全を地域で守る」という風潮を盛り上げ、地域における犯罪抑止の向上と防犯意識の高揚に寄与したいと考えています。

これから始める事業者の皆さまへ

関係する機関との十分な調整が必要です。

